

平成30年度入学生用カリキュラムマップ

【博物館学芸員課程】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18UCUA3001	生涯学習概論	3	生涯学習および社会教育の本質と意義の理解を図り、教育に関する法律・自治体行財政・施策、学校教育・家庭教育等との関連、ならびに社会教育施設、専門的職員の役割、学習活動への支援等の基本を解説する。	生涯学習が具体的にどのように展開されているのか、その考え方やあり方を知るとともに、生涯学習支援策について理解し、市民社会に貢献できる生涯学習指導者としての役割を認識する。
18UCUA3002	博物館概論	3	博物館とはなにか、その歴史と現在、および課題を明らかにし、博物館が社会において果たすべき役割、使命を考え、博物館のあるべき姿を追求することを目的とする。	博物館の歴史、特質と役割、使命について理解する。現在の博物館が抱える課題について問題意識を身につけ、解決策を考察・提示する。
18UCUA4003	博物館経営論	4	博物館運営の基礎となる財政・人材・設備、教育普及活動、および博物館における情報の意義と、その活用などについて基礎的な内容を理解する。	博物館経営を理解するために必要な、財政・人材・設備、教育普及活動について理解する。博物館における情報の意義と、その活用などについて理解する。
18UCUA3004	博物館資料論	3	博物館資料の収集・調査・研究・保管・展示、および資料の保存や修復に関する理論や方法、知識や技術の取得をはかり、博物館における学芸員の調査研究活動についての基礎的な能力を養う。	博物館資料の収集・調査・研究・保管・展示、および資料の保存や修復に関する理論や方法、知識や技術を習得する。博物館における学芸員の調査研究活動についての基礎的な能力を身につける。
18UCUA3005	博物館資料保存論	3	現在のミュージアムにおける資料保存をめぐる諸問題について、歴史的な視点を加味しつつ、実践的立場から具体的・多角的に検討することを通じ、学芸員としての素養を身につけることを目的とする。	学生各々が、よりよい資料保存のあり方について、歴史的な視野をも養いつつ、学芸員としての実践的立場から具体的・多角的に考え、切り開いていく創造的な能力を養成することを目標とする。
18UCUA3006	博物館展示論	3	現在のミュージアムにおける展示をめぐる諸問題について、歴史的な視点を加味しつつ、実践的立場から具体的・多角的に検討することを通じ、学芸員としての素養を身につけることを目的とする。	学生各々が、よりよい展示のあり方について、歴史的な視野をも養いつつ、実践的立場から具体的・多角的に考え、切り開いていく創造的な能力を養成することを目標とする。
18UCUA3007	博物館教育論	3	博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得し、博物館の教育機能に関する基礎的な能力を養うことを目的とする。	受講生が、社会教育施設としての博物館の中身や、学芸員がおこなうべき仕事、地域社会との関わり、地域の人々との連携事業の中身を正確に理解できる授業をおこなう。
18UCUA4008	博物館情報・メディア論	4	博物館における情報の意義と活用方法および情報発信の課題等について理解し、博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的な能力を養う。	受講生が、社会教育施設としての博物館、資料館の中身や、学芸員の職務内容、市民との連携の重要性などについて、正確に理解できる授業をめざす。
18UCUA4009	博物館実習A	4	博物館における学芸員の多様な業務内容を理解するために、学芸員として身につけておくべき基礎的な知識・技術の習得を図ることを目標とする。	博物館学芸員として身につけておくべき基礎的な知識・技術を取得する。資料、道具の取り扱い、目録の取り方、保存の方法、評価など。
18UCUA4010	博物館実習B	4	博物館での実務実習を通して、博物館に求められている機能やサービスを理解し、博物館学芸員の果たすべき役割をふまえて、博物館のあり方について考えることを目的とする。	各博物館における実務実習を通して学芸員の役割、機能について、実践的に理解する。
18UCUB1001	文化史	1	広義の「文化」とは、人間の営み（およびその成果）そのものである。そのなかから「茶」を例として選び、狭義の文化の形成と展開、および日本文化や社会に与えた影響について理解する。	モノとしての「茶」、飲用する行為としての「茶」の歴史的展開について理解する。茶の歴史的展開について学ぶことを通じて、日本の文化、文化史についての考え方、捉え方、理解の仕方を身につける。文化、文化史というものについての考え方、理解の仕方、姿勢などを理解し、表現できるようにする。
18UCUB1002	民俗学	1	現在、民俗（folk）が忘れさられ、民間伝承（folklore）が消えつつある。日本民俗学が扱っている内容は、日本文化の土台そのものであるといつてよい。私たちは今、民俗のことを知り、民俗についての具体的なイメージを得たいと思う。特に日本民俗の精神文化について学びたい。	民俗学の知識を学び、日常生活における年中行事や生活慣習などが、民俗文化の伝統の中にあることを知るようになりたい。また、これらが心意現象を背景にもつことにも気づいてゆきたい。
18UCUB2003	美術史	2	美術作品を主要なコレクションとする美術館・博物館学芸員に必要とされる、美術史の基本的な知識および方法論を学ぶことを目的とする。	講義では仏教美術を中心に、作品のイメージを多用する。日本美術史の大まかな流れを捉えるだけでなく、美術作品の鑑賞について実践的で主体的な力を身につけることも目標とする。

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標
18UCUB2004	考古学	2	この科目は、基本的な考古学の用語を理解し、博物館学芸員として考古資料を取り扱う際に必要な考古学の基礎知識および展示能力の習得を目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> ・考古学に関する知識の理解 ・博物館学芸員としての情報公開の能力 ・考古資料についての知識を活用し、考古資料を展示品として、研究者のみではなく、学校教育や一般の人々の教養や娯楽にも役立つような展示企画をたてる能力。
18UCUB2005	古文書学	2	できるだけ多くの古文書に触れることで、種々の古文書を解読できるようになるとともに、分類などの技術を習得することを目的とする。	書かれた古文書が一定程度読めるようになる。漢字、仮名などが、楷書から行書、草書などに崩されていく過程を、段階を追って読めるようになる。書かれた古文書を読んだうえで、その内容や機能を理解する。